



令和4年11月8日発行

立山町教育センターだより 号外23

立山町教育センター 〒930-0221 立山町前沢 3318 TEL: 463-4407 FAX: 463-6622 URL: <http://www.tateyama-c.tym.ed.jp>

訪問研修を終えて⑨ 立山中央小学校

研修主題 : 学びの楽しさを追究する子供の育成

本校では今年度、一人一人が連続性のある「学びの楽しさ」を感じることができるよう「学びの連続性」を大切にした授業づくりに加え、子供自身が「学び方」を身に付け、主体的に学習を進めていくことができるよう、「学び方指導の充実」に力を入れて研修を進めています。学校訪問研修での協議や指導助言により、明らかになったことや残された課題の一部を紹介します。

<明らかになったこと>

- ・子供と共に練り上げた学習課題を基に学習を進めることで、子供の主体的に学習に取り組む姿を引き出すことができていた。そこに至るまでの学習課題の作り方の指導が重要である。
- ・話型指導や思考の型を指導することで、順序立てて説明したり、考えを広げたり深めたりすることができるようになってきている。
- ・評価規準を子供の言葉に落としたもの（身に付ける力）を作成し、子供たちに提示することは、子供が見通しをもったり、自己調整を図ったりするための有効な手立てとなっていた。

<残された課題>

- ・主体的な学びを支える話し合い活動を活発にするために、学習課題の吟味や提示の工夫、子供への学び方の指導を充実させていく必要がある。
- ・「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、単元のどの段階で記録に残る評価をするのかを明らかにするとともに、教師自身が評価規準をさらに具体化し、明確な根拠をもって評価できるようにしていかなければならない。
- ・基本的な規律に対する指導の学級差をなくし、全校で指導を徹底していく体制をつくっていかねばならない。

多くの示唆を与えていただき、これまでの取組の成果と、今後の研修の方向性を確認する機会となりました。

文責 教務主任 松原 央 明

